

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2008 年度臨時図書館サービス・システム委員会議事録

日 時：2008 年 7 月 25 日（金）10 時～11 時 30 分

場 所：中京大学 名古屋キャンパス

出席者：尾崎友子（名古屋女子大学）、濱口庸介（愛知大学）、栗木良次（愛知学院大学）、
木村倫代（愛知学泉大学）、小川真智子（愛知工業大学）、小嶋智美（愛知淑徳大学）、
鈴木卓美（金城学院大学）、高木陽司（中部大学）、藤井智夫（東海学院大学）、中
島慶子（豊橋創造大学）、石田信（南山大学）、守田正江（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学） 委員長

欠席者：保富洋子（豊田工業大学）

計 12 名

記 録：守田正江（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学）

【報告事項】

1) 実務担当者研修会

尾崎委員長より、9 月 4～5 日開催の実務担当者研修会の参加者数について、委員を含み 44 名の参加者となり、当初の想定を上回る人数となったとの報告があった。

2) 図書館サービス・システム委員会アンケートについて

尾崎委員長より、パスワード配信先確認の結果について送信先アドレス変更が 5 機関あったこと、パスワード受信未回答機関に対し再確認の依頼があった。

3) WEB 活用研修会

尾崎委員長より、参加者数・参加機関等の報告（私大図書館 24 機関 41 名、国公立大図書館 3 機関 3 名、公共図書館 2 機関 2 名、関連企業 1 業者 4 名 計 51 名）があり、その後業務分担の確認を行った。研修会閉会后、会場校である中京大学図書館の自由見学が可能となったとの連絡があった。

【審議事項】

1) 東海地区協議会 HP について

尾崎委員長より、懸案の HP リニューアルについては、2009 年度改組に向けた新委員会ワーキングの動きを踏まえて、デザインだけでなく複雑な階層構造の見直し等が必要と思われるがどうかとの提案があった。新委員会ワーキングでは、今後の委員の業務軽減のためにも HP 管理のスリム化も検討事項となっている状況が説明された。

また、ホームページ委員会より、協議会サーバ容量の増強に伴い各地区協議会の保存ファイル量が増加した。各協議会で何をサーバに保存するかの検討依頼があった旨が報告された。

ホームページの見直しについて、濱口委員から参考事例として、愛知大学図書館 HP のリニューアルについて報告され、愛知大学の事例では HP 作成の外注費用のほか、年間保守で恒常的経費も相当必要であることも説明された。

上記を踏まえ種々意見の交換がなされた結果、委員会の見解を以下とし、今後は HP 担当委員を中心に検討していくこととなった。

- ・ 各委員会、研究会等の議事録及び成果物の保存期間は常任理事会で諮り「ホームページ運用に係る申し合わせ」の改定案を作成のうえ総会で決定する。
- ・ ホームページのアーカイブ部分は現状の活委員会別ではなく年度別の構成としてより管理が簡便な方法とする。
- ・ HP を外部委託しても更新ファイルの作成作業等は残存し、費用のわりに効果は得られないのではないか。HP 構成をシンプルにすることで内製するのが望ましい。
- ・ サーバ保存ファイルとして、各委員会が持ち回りで引き継いでいる過去の資料について可能なものは電子化し保存してはどうか。

以上の意見について具体的運用方法の検討及び運用マニュアルの作成等を野検討としてHP 担当者会議を愛知大学（日程は今後調整）にて開くこととなった。

その他、「館灯」データについて Cinii へ登録する際に利便なように今後は印刷業者から目次のテキストファイルの取得依頼を行うこととすることになった。

2) その他

次回委員会は、10月17日（金） 愛知工業大学八草キャンパスにて開催予定。

以上